

第9期
いきいきプラチナプラン
<能美市高齢者福祉計画・介護保険事業計画>

2024年3月

能美市

はじめに

近年、我が国では高齢化が進み、本市においても2023年4月1日現在の高齢化率は26%を超え、今後は一人暮らし高齢者世帯の増加、現役世代の減少が見込まれています。

このような中、本市では、個々人が「いきいき」と生涯変わらずその人らしく活躍することを「プラチナ」の持つ変色・変質しない特徴に例え、本計画を「いきいきプラチナプラン」と称し、一人ひとりが「いきいき」といつまでも「プラチナ」のように輝き続けることができる地域共生社会を推進してきました。



第9期計画中には団塊世代が75歳以上となる2025年を迎えることになり、今後においても高齢化はさらに進行していく見込みです。その一方で、平均寿命が伸びてきており、高齢者の体力や運動能力は向上し、個々人の意欲・能力に応じた自分らしい生活を送るための取り組みが重要となってきています。また、令和六年能登半島地震を受け、平常時より一層健康づくりの推進を強化し、フレイル予防に取り組んでいきます。住み慣れた地域で高齢者一人ひとりが役割を持ち、支え合いながら活躍できる環境づくりを進め、地域共生社会のさらなる推進を図ります。

また、デジタル技術を活用して、安全安心・快適に暮らし続けられる「能美スマートインクルーシブシティ」構想を掲げ、医療介護連携や高齢者の見守り、防災支援等を進めており、安心して年を重ねることができるまちづくりを目指しています。今後も引き続き皆様のご支援とご協力をお願いいたします。

最後に、本計画の策定にあたり、ご審議いただきました高齢者福祉計画及び介護保険事業計画策定委員会の皆様をはじめ、アンケート調査にご協力いただきました市民の皆様並びに事業者の方々、貴重なご意見・ご提言をいただきました皆様に心から感謝申し上げます。

2024年3月

能美市長

井出敏朗

